

琉球大学学術リポジトリ

米国管理下の南西諸島状況雑件 琉球政府 機構・
人事・県民会議

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-01-28 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43358

行政主席の任命

- 3分
(39至10分)
は一般型
(11分)
2分
ト 1分
3分

行政主席の任命

一部分
(39年10月分)
は一般重要
(特別案件)
(2) ファイル
お預り替
えに。

○

○

○

○

大臣
政務次官
事務次官
外務審議官

官房長
OCT. 10. 1964
官房総務参事官

事務官
兼 庶務長

琉球政府次期主席の

人選決定について。

39.10.8
廿七

本件に関し10月8日薄特使一課長より

電送連絡下記通り。

1. 沖縄の保守両派は、昨日より大田

主席の後任主席の指名に関し協議

会を開催、候補者を当面重剛、

松岡政保、十カマの三名にし、

高岸兼務官と密接に連絡、相談を

昨日午後10時頃徹夜の間で協議が行われ

た、今朝5時に至り漸く

松岡政保(自民党顧問)を主席

に指名するに両派の合意が

得られた。

2. ^{保衛隊員}直ちに立法院を招集し、松岡を

指名する予定であるが、立法院規

則の準備に2週間を要する。

3. 政局検収の目安がつかないで、ウソン

高等弁務官は本日午後4時頃

来日予定である。

アメリカ局長 ~~カ~~
参事官 ~~カ~~
米米課長 ~~カ~~

沖縄立法院の新行政主席の
指名中止に因り米國國務省の発表
(1952. 10. 30)
(米北)

総理府特選局より琉球政府東京事務次
長事務新局長に於て本件情報を次のとおり
電話連絡した。

ワシントン 29日発 時事特派員

「今朝、米國國務省当局は29日、琉球立法院
の主席指名見送りの報に遺憾の意を表明。
同省は野党側が松岡新主席指名に反対に
したことを知ったが、野党革新団体の激しい
攻勢で院内への警察官導入や開会中止を招
いたことに基づいて、特にこうした事件は会
好中

30/10

GA-6

外務省

の兆をみせつつ沖縄自治内閣に影響ある
成りたる注視して

GA-6

外務省

琉球政府立法院議員 (1962. 11. 11 選出)

党 派	氏 名	備 考
沖縄自由民主党		7名
	山 川 泰 邦	
	垣 花 夷 昌	
	宮 城 善 兵	
	安 里 松 徳	
	金 城 信 範	
	屋 克	
	新 里 清 篤	
沖縄自由党	長 嶺 秋 夫	11名
	盛 島 明 秀	
	登 江 朝 幸	
	伊 良 波 長 幸	
	田 仲 武 明	
	伊 芸 徳 一	
	古 原 重 蔵	
	砂 川 旨 誠	
	中 村 暁 北	
	吉 元 栄 真	
	友 奇 喜 弘	

総 理 府

党 派	氏 名	備 考
沖縄社会大衆党	島 堅 栄	7名
	知 花 英 夫	
	平 良 幸 市	
	平 良 良 松	
	安 里 績 4代	
	前 川 守 仁	
	宮 良 朝 義	
日本社会党沖縄支部	岸 本 利 実	1名
沖縄人民党	石 堅 実 吉	1名
無 所 属	久 高 将 憲	2名
	知 念 朝 功	
		計 29名

総 理 府

松岡主席に落ち着く

□□□ワトソン調停の舞台裏

長期にわたって混迷を続けた沖繩の政局も、主席問題の落着いで一応安定への道を踏み出したようにみえる。ワトソン高等弁務官、アメリカ政府首脳の徹夜の斡旋で琉球立法院が次期主席として自民党顧問松岡政保氏を指名し、大田現主席の辞表を受け入れることが内定した。政府与党が分裂して約四カ月、新主席誕生の時期が皮肉にも大田主席や与党幹部が主張していたのと符合するものがあるが、偶然の一致ではなさそうだ。四カ月にわたる陣痛の経過と今後の課題をさぐってみる。

派閥抗争に明け暮れ

保守二派が次期主席候補の選定について話し合いを始めたのはワトソン高等弁務官が就任(八月一日)してから間もなくであった。これは極秘のうちに進行していたため一般には知られていなかった。しかし自民党、自由党内部ではすでに大田主席が辞表を出した当時から各議員それぞれの中で推立者を決め、これが派閥となつて動いていた。とくに自由党(当時の民政クラブ)内

は三派に分かれ、その抗争がつい到最后の幕切れまで続いた。ところで自民党の場合、大田主席はじめ党幹部が「一番苦慮していたことは人物難であった。当初は暫定主席というわけで小波副主席の昇格を考えていた。しかし、脱党グループとの保守結束と来年十一月の選挙に備えるという観点から、元海軍大佐・欧州駐在武官の経歴を持つ渡名喜守定氏(琉球漁業社長)も立てた。だがそれが最も悪悪の場合は自由党が推している候補者のなかで比較的に自民党に近い松岡政保氏(自民党顧問、松岡配電社長)に乗りかえる

考えも持っていた。これは多分に当間重剛氏(元主席)、長瀬秋夫氏(立法院議長)を牽制するためであった。これに対し自由党は、人物の点では当間、松岡、長瀬の三派に有利な立場にあつた。しかし、それだけに当間、松岡、長瀬三派の抗争は激しかった。しかも自民党がときどき松岡氏支持の旗をもちろつかせたため、両党会議はますます混乱した。

その一例をあげると、二十四時間の間に、当初推薦された長瀬、当間、松岡の三者の中からまずアメリカ政府の意向もあつて長瀬氏が落ちたが、再び長瀬氏一本に切り替えた。そして最終段階の軍民合同会議の劈頭、経済界との紳士協定を破棄して一般の意見を聞く当間氏を推薦するなど、二、三時間ごとに推薦候補が変わるといった状況であつた。結局、松岡政保氏指名に決定を見たが、両党間

の斡旋役をつとめてきた経済界の某氏は「何のことはない、すべて派閥争いだ。全く時間の浪費だつた」と嘆いていた。

ひと肌ぬいだ経済界

今度の主席後任問題で経済界は大きな犠牲を払つた。もともと当地では政界と経済界との結びつきは薄い。その理由は琉球立法院の政治力、琉球行政の行政能力に対して経済界は不信の念をもつており、そして事業の面で行き詰るとそのほとんどが民政府によつて解決されるケースが多かつたからだ。さらにキャラウェイ前弁務官当時、政治資金規制についての措置が打たれたため、いっそう経済界と政界とは疎遠となつた。

したがつて、さる六月の政府与党の自民党が分裂した当時は、対岸の火事といつた調子でながめていた。ところがその後、事態が一向に好転せず、保守工派の

ミソが深まるばかりでなく、このままでは来年十一月の立法院選挙での保守大敗が予想されるにいたつた。そこで経緯、

も傍観して(わけに)あらず、竹内和三部氏(琉球商工会議所会頭)、船越尚友氏(沖繩経営者協会会長)、具志堅宗精

氏(沖繩工業連合会)、長、秀英氏(琉銀総裁)ら十名から成る有力者グループに、斡旋が始まつた。

この経済界の尽力で十月に入つてからは候補者も自民党小波副主席、自由党当間、松岡両氏の三名にじぼられた。しかしどうしてもこの線から一歩も前進しないため延々十時間にわたる夜を日についでの斡旋の結果、仲井間宗一氏(弁護士、戦前の民主党政代議士、当選四回)が浮かび上がった。これは局面打開のため

経済界が、(1)保守結束を来年二月を目途に行なう、(2)五名(当間、松岡、長瀬、小波、渡名喜)以外から経済界が斡旋する、など五項目について、自民、自由両党議員団の署名をとりつけ、ともかく無難な人物として選び出した苦肉の策でもあつた。もつともこの間、経済界では行政経験のある船越尚友氏や前副主席の瀬長浩氏のかつき出しもみられたが、いずれも固辞して受けず、とくに船越氏は斡旋役を辞退するとの強い発言で沙汰やみとなつた一幕もあつた。

弁務官、直接任命を回避

こういつた民間の動きに対し、ワトソン高等弁務官はじめアメリカ政府はギリギリのところまで静観の態度をとり、

両派幹部に、保守結束の必要性と「統一候補を推薦するように」と要求するにとどまつた。この民政府の方針というよりもワトソン弁務官の考え方は、九月中旬ごろまで堅持された。つまり弁務官としては、就任当初打ち出した、民意尊重と、この一、二カ月の間に急速に好転してきた住民の対米感情を無理をしないでそなうたくなつたためであつた。

ところが保守結束を要望して以来すでに三カ月余もたつてなお政界は安定せずむしろこれに逆行する。新党結成に業をいやし、十月に入つてから積極的な調停工作に乗り出した。軍民合同調停会議が開かれた日の沖繩経営者協会主催の昼食会では「琉球立法院議員が住民に負う責任の重大性」について、かつてない強い調子で指摘していた。そして、その日の午後五時、ワトソン民政官を通じて両派幹部に対して午後十時までに最終回答するように」と強調、これより先に本土出張を予定していた長瀬立法院議長や各議員に城外旅行を差し止めるなど積極的な手を打ちはじめた。

そしてワトソン弁務官自身も日本政府招待による東京行きを八日出発を九日朝に延期し、万一、八日夜から九日朝にかけて解決しなかつた場合は、日本訪問を



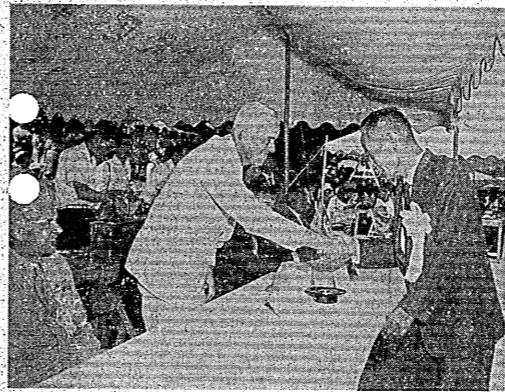
琉球行政府主席に内定した松岡政保氏

断念する意向をあらわしていた。こうい
った弁務官の真意は結局、直接任命、を
できるだけ遅れたかったためである。こ
の点について、アメリカ側の某消息筋は
「事態がかりにその必要性を求める時期
にきていたとしても、直接任命した場合
住民はその結果だけを問題にするかも知
れない」と述べていた。それとともに民
側でも「日本訪問を前にして対米批判論
者にその口実を与えることを避けたかつ
たのだろう」といった見方が出ている。

七時間の舞台裏

ところで長期間にわたつてもめつづ
けた後任主席問題のフィナーレとなつた軍
民合同調停会議は大詰めにもさわしく、
アメリカ側はワトソン高等弁務官、ワ
ナイ首席民政官、コブ副民政官のほか、
弁務官付補佐官ネピア大佐がズバリ顔
を並べた。これに対し民側は大田主席はじ
め専ら自民党議員七名、自由党議員十名
（宣言議員は病欠）が出席した。会議は
八日午後十時から九日午前五時までの七
時間にわたつて行なわれた。ところが開
会勢頭から紛糾した。というのは、自民
党は経済界が降参した人物の仲井閣下、
氏について「迫力」と「時代感覚」とい
う点で難色はあるにしても、差し当たつ

て政局の安定は不可欠だとして、同氏を
推薦した。ところが、自由党はこれまで
の対自民党折衝ですべて一応、意外に落
ちたはずの当閣重剛氏を推してきたから
である。
同党がどのように意を固めた行動に
出たことについては「仲井閣下の政界経歴
に遜色のない人物となれば当閣氏以外に
ない」とみただけだ」と見る向きもあるが
それとともに、一部筋では「松岡派が逆
に、当閣と仲井閣をぶつつけて喧嘩両成
敗をねらい、松岡氏を浮かび上げさせよ



第四回移民祭会場でのワトソン弁務官と松岡氏

うとしたものだ」とのうがった観測も聞
かれた。いずれにしても話し合ひは難航
し、時折り用足しに顔を見せた両派議員
の表情は堅く、居合わせた報道陣はいず
れも、直接任命、ではないかと気負い立
つたほどである。こうして会議は中盤に
入つて今度は自民党から松岡氏が持ち出
され、数日前の情勢に逆戻りした感を呈
した。
結局、高等弁務官の調整で終幕近く
なつて採決により反対者の多い人物から
閣外に落とされ、まず仲井閣氏、ついで
当閣氏の順にはずれ、自民
党と自由党の松岡派によつて
松岡政保氏が主席の座をつか
んだ。ときに午前四時半であ
つた。

松岡氏の政治理念

松岡政保氏はよほどのこと
がない限り十月末か十一月
初めに立法院で次期主席とし
ての指名を受け、ワトソン高
等弁務官は正式に同氏を第四
期主席に任命する。これと同
時に大田主席の解任を發令す
ることになっている。こうし
て松岡氏が始まる。けであ

るが、同氏の、政權引き受け、政治理
念、は次のとおりである。
問、主席指名について
松岡 自分は従来から指名があれば引き
受ける心構えはできていた。幸い、自
民、自由両党の推薦を受けたので、い
ままで考えていたことをやりたい。自
信は十分ある。
問、政治理念は何か
松岡 方向づけとしては「より良き住み
良い沖繩を築き上げる」とこと「人間
の権利を守る」とことである。これを両
立させていきたい。ただ民権は憲法に
よつて保障されているものだ。したが
つて占領下つまり憲法のないところで
は完全な民権はあり得ない。民権につ
いては対米関係になるが、相互理解に
よつて徐々に解決の方向へもつていき
たい。

問、主席公選、祖国復帰について
松岡 この問題に対する自分の考えは持
つていないが、まだ正式に任命されたわ
けでもないで、任命後に答へたい。
ただ主席公選、祖国復帰について反対
するものはないと思う。問題はどの政
階でいつやるかである。
問、対米姿勢と保守結果について
松岡 対米姿勢については勇気と信念を
持つことだ。保守結果は保守の理念が

一つであり、両党議員の良心に訴えて
善処してもらふ。保守結果は明るい政
治への前進である。

早くも野党攻勢の兆

松岡氏指名に決まる。とのニュース
は、いち早くラジオの臨時ニュースで全
島に広がった。これを耳にした住民のな
かには、同氏の、英語マン、未知数の
フアイト、能率主義、に好感を持つた
向きと、その反面、もつと意外、とい
つた表情のグループもかなりいたことも
事実である。というのは、同氏はどちら
かという経済界とはつながりが薄く、
しかも住民の見方はこれだけゴタつた
から無難な小波副主席の昇格か、ある
いは経済界が推している仲井閣下に落
つてみていたからである。

もつとも、軍部に近い民側の情報通は
「直接任命になればアメリカ政府にそ
の力量を買われている松岡氏になる見通
しが強い」とみていたし、自民党幹部で
さえ「その可能性は濃い」とも言ってい
た。

こういった背景のもとに踏み出すだけ
に、松岡施政の当面する問題も多いこと
は当然なすけよう。差し当たつての問
題点は、指名反対、主席公選、を掲げて

いる野党攻勢、どうさよ、ていくかであ
る。

社大党平長書記長は「当初、主席公選
を主張し、自民党を脱党したはずの自由
党が、新党結成したその日に自民党と通
じて松岡氏を指名することを決めた。こ
れは住民の間に政界に対する不信感をか
きたるようなものだ」として、自由党
の責任を強く追及する気構えをみせてい
る。そして野党連合、院外民主団体も動
員して指名阻止に動く気配をみせてい
る。もつとも、この野党の抵抗は直接、
松岡氏とは関係がないにしても、あとあ
とまで尾を引き問題だけに、簡単に無視
し去るわけにはいかないようだ。

保守結果はどうなる

いま一つ松岡施政の先行きに大きくの
しかつてい問題に、保守結果、があ
げられる。これは同氏によつて野党攻勢
以上にやっかいなものと言えよう。自民
党幹事長の新里清徳氏は「松岡氏は自民
党顧問であり、同氏が指名が決まった以
上、自民党としては大いに協力し、保守
結果を促進したい」と語っている。した
がつて来る十一月の自民党大会では
自由党と同様に党総裁は決めず、総裁代
行制を採用する肚のようである。事実、

自民党の場合、政壇、その星野氏が松岡
政權への影の功労者であつてみれば、新
里幹事長、うごともなるほどとなす
ける。

ただ問題は地方組織がどう動くかであ
る。それよりも松岡氏にとつて頭の痛い
ことは、自由党内の当閣、長嶺両派と当
閣派に直結している那覇市長の西原順次
氏などの動向である。当閣重剛氏は沖繩
政界の重鎮であり、松岡政保氏とは宿命
的なライバル関係にある。先年の主席任
命争いの際も力か合ひ、その当時は大田
副主席が主席に任命された。今度の場合
でも当閣派（四名）が最後の最後まで松
岡推薦に反対していた。こういったいき
さつからみて経済界の一部では先行き一
抹の不安を抱いており、目下も来年十一
月の総選挙を控えているだけに、両派の
自重を要する声が高い。

この反面、松岡氏が自民党顧問という
経歴から考えて案外スムーズに保守結果
が実現するのではないかとみている向き
もある。つまり松岡氏が一応、自民党顧
問の党籍から離脱し、自由（総裁代行制
をとつてい）、自民両党が何らかの形
で保守合同して、その際の総裁へのコー
スにもつとも近いのが松岡氏だとする意
見である。ただ、ひところ自由党内部に
総裁、主席分離論が論議されたことがあ

四力月間の教訓

自治権拡大問題に端を発し、琉球政界
初の任期途中における大田主席の辞表提
出など、約四カ月間にわたつて混迷を続
けてきた政局も、ワトソン弁務官の異常
なまでの忍耐力で、直接任命、だけは回
避でき、住民はホッとしていた。とはい
うものの沖繩経営者協会の新里事務局長
などは「弁務官調停によつてやつと二人
にしほることができたという事実、そ
れだけ政界人に自主性が乏しかったこと
になる」と語つており、さらに「沖繩政
界の弱さをまざまざと見せつけられた」
とこぼしている。こういった見方は報道
界にも見られる。十月九日付けの沖繩ク
イムスは社説「政治の自主的領域」のな
かで「最近の次期主席問題をめぐる動き
はあまりにも党利党略にとられ、自主
性を失つてい」と指摘していた。松岡
政保氏は、英語マン、で、ノー、とい
う言葉を知つている教養ある政治家である
とのうわさがもつただけに、住民は同
氏の今後注目している。

主 席の仕事をやりにくさず自信は十分にある。要するに勇氣と信念

だ。一、四月にわたる難産のすえ、やつと第四期琉球政府主席として指名を受けることに決まった沖繩自民党顧問松岡政保氏の言葉である。このことから直感的に「ブライター」であることが読みとれるわけであるが、松岡氏これまでの人生はこれすべて、前進、であつたといわれる。

出身地の本島中部の金武(きんむ)村の尋常高等小学校を卒業するや、十七歳で單身ハワイにとび出し、砂糖キビを耕しながら勉学。さらに渡米、苦学して南カリフォルニア大学工学部、インディアナ州トリス州立工大、一九二八年春帰省して再び東京帝大で研修。現在、電気工学士の学位を持つ生粋のエンジニアである。

職前は東京理化学研究所高崎製造課長を経て帰郷、沖繩製糖手納工場長としての荒廃した郷土をなぐめ、復興こそ自分の仕事だ」と感じた。そこでこれをやり遂げるためにはどうしても「肝心の裏づけが肝心」というわけで関心を持

ちはじめたのが政界入り。きつかけである。一九四五年(終戦の年)に、復興の足かりともいふべき沖繩諮問委員会が設置されると、その事務局長になつた。英語が話せるというわけで、アメリカ当局からの指令、通達はすべて松岡氏を通じて行なわれた。その後、沖繩諮問委員会は発展的に解消して、沖繩民政府が設立されたが、松岡氏はその経歴から推さ

れ、松岡氏はその経歴から推されて工務部長に就任した。



松岡政保
=琉球行政主席を待
たせる

れから一九五五年の初の群島知事選挙に立候補するまでの間は松岡氏自身「最もやりがいのあつた時代だつた」と述懐しているほどの仕事師であつた。

ます四五年から五〇年の最初の五年間に道路、港湾などの土木事業をはじめ海運、郵政、住宅建築、農地改良など主として建設、運輸関係、行政にたずさわ

つた。このとき政府予算わずか二千万円に對し工務部予算五億七千万円をアメリカ側から出させ、大典寺政府(当時)は工務部は大典寺にあつた」と一躍有名になつた。

ところが政界とのつながりだが、一九五二年、中央政府の発足に伴つて比嘉主席を総裁とする沖繩民主党が結党されると顧問に推され、比嘉主席の急死に伴い約一カ年間総裁代行となつた。しかしその後、民主党、当間派(当時主席)、新政会の保守合同による現在の沖繩自民党(総裁大田政作氏)の結党に伴い党顧問に就任、現在に至る。

もつともこの間、ブリス高等弁務官当時、初の第一党方式による主席任命で大田主席に当間重剛氏とともに苦杯をなめた。こういつたことから政界からは、悲劇の松岡、裏街道の松岡、などといわれたりなどしたが、今度の主席指名の栄冠をかち得たことで、三度目の正直とはやされている。

つ柱の強さと、相手かまわずズケケ物を言う性質は有名で、おのずから敵も多いわけ。現在、松岡配電社長で沖繩配電協会会長をつとめており、これも「力料金引き下げをめぐり、

マン同士の論議を展開したことは今でも語り草になつている。松岡氏はまた宴会ぎらいでも有名。しかも自立独行でやつてきただけに、何事につけても自信は人一倍強い。だが、電力事業という産業の中核にありながら、経済人とのつき合いはびつくりするほど少ない。松岡氏の側近は「これが松岡氏の良いところでもあり、欠点でもある」と言う。今度の主席指名で松岡氏を推していた自民党の某幹部は「角がとれてくれれば」と語っている。

松岡氏の自慢の一つに、大磯の吉田老人から貰つた掛け軸「年似流水去不帰 人似草木喜榮」がある。一脈相通するところがあるのだろう。「平穩無事なときは魅力がない。松岡を必要とする時期こそやり甲斐がある」と語つてゐるが、こちらで清濁合わせのむ気概もほしいところ。

趣味は、いまはやりのゴルフは真つぱらとこのこと、もつぱら庭づくりと蛇味線のサオづくりだが、サオの角度と音色などの調和を科学することが目的というあたり、エンジニアらしい。

家庭は長子夫人と二男四女。六十七歳の四年生まれ。(東田特派員)

世界の顔

高の関士



松岡政保

沖繩那覇市美栄橋町
琉球政府行政主席 屋良朝苗 宛

局長
参事官
北米課長
事務課長

屋良主席就任に伴う琉球政府
の発足に対する祝電兼
（と新琉球政府の発足）
貴主席の御就任をお祝ひ申し上げる
とともに、貴下におはじめを政府取
組への一層の御精励を申し上げます。
本土政府としては、~~新琉球政府と協力し、~~
新琉球政府と協力し、沖縄の諸懸案
の解決のため一層の努力を傾注いたした
と存じます。

局長
参事官
北米課長

内閣総理大臣佐藤 作

187字

アメリカ局長
参事官
北米課長

（特達局より入手）

一 屋良主席就任に伴う
新琉球政府発足に対する祝電

新聞発表(官邸報道室より記者団に発表した由)

屋良主席就任に伴う新琉球政府の
発足に対する内閣総理大臣の祝電について

昭和四十四年十一月十日
総理府特別地域連絡局

十二月一日に新行政主席に就任する屋良新
琉球政府行政主席の就任と新琉球政府の発足
を祝して内閣総理大臣から別紙のとおり祝電が
送られた。

(別紙)

屋良主席就任に伴う新琉球政府
の発足に対する祝電

貴主席の御就任と新琉球政府の発足をお
祝ひ申し上げるとともに、貴下をはじめ、貴政府職
員各位の一層の御精勵を祈ります。

本上政府としては、新琉球政府と協力し、沖縄
の諸懸案の解決のため一段と努力を傾注いたし
たいと存じます。

新聞発表（官邸報道室より記者団に発表した由）

貴主君の御病体は併せても御回復の
希望は利へるが、御病状は御回復の

昭和二十一年四月二十一日
東京府知事 斎藤隆夫

四月二十一日、前記の如く、御病状は御回復の

御回復の御希望は利へるが、御病状は御回復の

御回復の御希望は利へるが、御病状は御回復の

御回復の御希望は利へるが、御病状は御回復の

昭和二十一年四月二十一日

東京府知事 斎藤隆夫

貴主君の御病体は併せても御回復の

御回復の御希望は利へるが、御病状は御回復の

御回復の御希望は利へるが、御病状は御回復の

御回復の御希望は利へるが、御病状は御回復の

御回復の御希望は利へるが、御病状は御回復の

御回復の御希望は利へるが、御病状は御回復の

秘
無期限

事務次官
近藤外務審議官

アメリ局長
参事官
北米課長

環球政府人事

43.11.25
米北

在.25日 冲繩事務所 米局長 北米課長に 電話連絡 して 予定 調整 済み

次のとおり 在米 同人事 出 1 両日 中に 正式 発表 する こと になり ました。

1. 確定 以内 内定

副主席 知念 勉 (確定)

総務局長 仲村 学春 (内定 以下 同)

通商局長 大塚 長夫 (諮問 答 既)

法務局長 岸本 利男 (候補)

厚生局長 山川 文雄 (候補)

労働局長 中松 喜幸 (法務 臨時 土地調査 局長)

2. 未定

農林局長 下地 幸一 (候補 石油 農林)

水産局長 玉城 現 部長は 有能 なるが 留任 希望 あり 西銘 連 系 あり 望 候補 あり 教 員 問題 あり といふ こと。

保健局長 城向 現 局長 留任 (候補)

○ 噂 話 し

文部局長 } 未定 問題 多し
警察局長 }

現地半側の反応

本園の聴取終了につき、知念副主
席に於ては如く「色々の事々々」人

を鑑み、今後の進展あり、老境に
ついで、知念副議長は

客室で4代 祝大造委員長に逢ったこと
を希望している。

事務次官

近藤外務審議官

アメリカ局長

参事官

北米課長

琉球政府人事決定

43. 11. 27.

米北

27日 在那覇 末岡次長より 北米課長
への電報連絡の事、琉球政府人事

は同日 17:00 時 下記を如く発表された。

知念 ○印は予想外の人、△印は留任。

記

1. 副主席 知念 朝功

2. 総務局長 中村 栄春

- ◎3. 企画局长 官城 信男 (文教圖書課長兼務)
(注) 最も苦心せし人事の由
- ◎4. 主税局长 ^{トス} 糸洲 一男 (全官公学委員長)
- 5. 法務局长 岸本利男
- ◎6. 建設局长 官里 栄一 (一級建築士)
- 7. 衛生局长 山川 文雄
- 8. 労働局长 仲根 要幸
- ◎9. 農林局长 ^{オカノ 1128} 翁長 林正 (海外移住事業団
沖縄事務局長)
(水産部長は、主税局長に留任せしむ
こと決定せしむ、後任は未定)
- ◎10. 通商局长 砂川 惠勝 (琉大、経済学教授)
- △11. 文教局长 小嶺 兼彦
(29局長の2は、教育委員会に連任の旨)

- 後、特殊地位に於ける期一長は
勤め世に趣)
- △12. 警務局长 新垣 淑重

- なお、官古地方庁長は官國同地区教取
員会兼務局長、本長八重山地方庁長は
^{シロ}
富良 長義 (普通立法院議員 共大党) 不
去、起用せしむ。

秘

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

(革新政策綱領を實行し得る人事)という形が本文を付けたといわれているところから、厚良氏の唱える(全果民的な政府)に対し、革新側がどう反応するかもポイントである。なお、今回の人事に当っては、警察、文教の局長ポストには触れず、また残った東京事務所長、宮古、八重山地方庁や主要部課長については引続き人選を進めるという。(註。上記の作業進捗に関し、厚良氏は本土政府筋に多大の配慮を示しており、本日決定に当っても公式発表に先立って、十か月経務局長予定者を通じて予め本官に連絡越したので念のため。)

(3)

AP375

OKINAWA

NAHA, OKINAWA, NOV. 27 (AP)-CHOBYO YARA, CHIEF EXECUTIVE-ELECT OF THE RYUKYU GOVERNMENT, WEDNESDAY ANNOUNCED THE MAKE-UP OF HIS GOVERNMENT WHICH WILL BEGIN FUNCTIONING DEC. 1.

JAPANESE REPORTS SAID MAJOR POSTS IN YARA'S GOVERNMENT WILL CONSIST OF:

DEPUTY CHIEF EXECUTIVE, CHOKO CHINEN, 54.
DIRECTOR OF GENERAL AFFAIRS DEPARTMENT, EISHUN NAKAMURA, 59.
DIRECTOR OF PLANNING, SHINYU MIYAGI, 48.
DIRECTOR OF TAXATION AND REVENUE, KAZUO ITOSU, 42.
DIRECTOR OF LEGAL AFFAIRS, TOSHIO KISHIMOTO, 48.
DIRECTOR OF AGRICULTURE AND FORESTRY, RINSHO ONAGA, 54.
DIRECTOR OF TRADE AND INDUSTRY, KEISHO SUNAGAWA, 46.
DIRECTOR OF CONSTRUCTION, EIICHI MIYAZATO, 43.
DIRECTOR OF WELFARE, FUMIO OGAWA, 56.
DIRECTOR OF LABOR, YOKO NAKAMATSU, 51.

CHIEF OF MIYAKO DISTRICT OFFICE, HORYO MIYAGUNI, 48.

CHIEF OF YAEYAMA DISTRICT OFFICE, CHOGI MIYARA, 63.
REPORTS SAID THE POST OF DIRECTOR OF EDUCATION WILL BE FILLED IN DECEMBER SINCE ITS APPOINTMENT MUST BE APPROVED BY THE CENTRAL BOARD OF EDUCATION.

REPORTS SAID YARA WILL DELIVER HIS INAUGURAL ADDRESS AT A SPECIAL SESSION OF THE RYUKYU NATIONAL ASSEMBLY DEC. 2.

HE IS SCHEDULED TO VISIT TOKYO DEC. 8 OR 9 TO PAY A COURTESY CALL ON PRIME MINISTER EISAKU SATO, REPORTS SAID.

2 349 YS

AP376

NAHA--FIRST ADD OKINAWA AP375

MEANWHILE, KYODO NEWS SERVICE SAID YARA HINTED WEDNESDAY THAT HE MIGHT TAKE AN "ELASTIC ATTITUDE" TOWARD THE JAPAN-U.S.-RYUKYU ADVISORY COMMITTEE TO THE HIGH COMMISSIONER.

KYODO SAID YARA MADE THE HINT AT A NEWS CONFERENCE FOLLOWING A MEETING WITH LT. GEN. FERDINAND T. UNGER, OUTGOING U.S. HIGH COMMISSIONER FOR THE RYUKYUS, BY SAYING THAT IT WOULD BE VERY DIFFICULT TO "OPPOSE" THE TRIPARTITE COMMITTEE.

YARA, WHO RAN ON A COMBINED PROGRESSIVE TICKET, SAID HE WOULD DECIDE HIS "ATTITUDE TOWARD THE COMMITTEE" AFTER CONSULTING WITH THE JOINT OPPOSITION COUNCIL, ESPECIALLY THE LEFTWING POLITICAL PARTIES, WHICH HELPED HIM WIN IN THE NOV. 10 ELECTION.

KYODO QUOTED YARA AS SAYING HE AND THE U.S. HIGH COMMISSIONER EXCHANGED VIEWS ABOUT THE APPOINTMENT OF DIRECTORS OF VARIOUS BUREAUS OF HIS GOVERNMENT, THE ADVISORY COMMITTEE AND THE "INTEGRATION OF OKINAWA'S SOCIO-ECONOMIC STRUCTURE INTO THAT OF JAPAN PROPER."

2 352 YS

米

アメリカ局長

参事官

化米課長

事務連絡第172号
昭和43年11月28日

MZP

外務大臣 殿

日本政府中視事務所長
事務連絡第172号

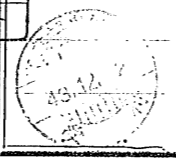
資料の送付について

往電第274号に因り、下記のとおり別添1部送付する。

記

本年11月27日、屋良新主席により決定された「琉球」政府新局長名簿」

- 要処置
-
- 首長事務
- 渉外
- 法務
- 総務
- 科学協
- 連絡調整
- 調査
- 力子外
- 局業務



琉球政府新局長名簿 (1963年11月27日現在)

局名	氏名	年齢	経歴
総務	仲村 栄春 (10年 4月 20日 生)	59	県立一中卒、沖縄群島議会議員、北中城村長、 沖縄市町村会長、税制審議会委員、北中城村出身
企画	宮城 信勇 (14年 5月 16日 生)	48	九州大学法文学部卒、入道山中高校教諭、入道山群島 政府文教部長、入道山地区教育長、琉球文教図書 常務、石垣市出身
通産	石川 恵勝 (15年 5月 17日 生)	46	早大第一政治経済学部卒、琉球大学講師、教授、 中央労働委員会委員、重要産業育成審議会委員、平良市出身
農林	翁長 林正 (15年 12月 14日 生)	54	台北帝国大学附属農林専門部卒、琉球政府東京事務所 渉外官、同政府企画局参事官、日本海外移住事務局 沖縄支所長、那霸市出身
法務	岸本 利男 (13年 11月 26日 生)	48	台北帝国大学文政学部卒、群島政府法務部土地課長 土前裁判所代表代理、沖縄労働組合副会長、那覇市出身
建設	宮里 栄一 (14年 2月 20日 生)	43	中人大学院農物系卒、一級建築士、琉球政府首 都建設委員会委員、那覇市出身
労働	仲松 庸幸 (10年 1月 23日 生)	51	県立一中卒、労働局労働基準課長、行政主務官 行政監察課長、労働局長、法務局臨時土地 担当局長、那覇市出身
厚生	山川 文雄 (19年 3月 31日 生)	56	日本歯科大学専門学校卒、元沖縄歯科医師 会長、沖縄精神衛生協会理事、那覇市出身

日本政府

主税	糸洲 一雄 (11年 5月 25日 生)	42	大阪市立旧制中卒、琉球税関監査課長、官公 労委員長、沖縄県労働組合理事長、税制審議会 委員、今保仁村出身
文教 (留任)	小嶺 憲達 (11年 10月 20日 生)	57	沖縄師範卒、真和志中教頭、文教局庶務課長、 総務部長、文教局長、本部出身
警察 (留任)	新垣 淑重 (15年 12月 4日 生)	52	県立一中卒、本部、石川、糸満、那覇署長、 琉球警察本部長、65年警察局長、那覇市出身
官古 地方庁長	宮内 泰良 (14年 11月 21日 生)	48	一橋大経済学部卒、官古高校教諭、官古教職 員会事務局長、会社社長、平良市出身
八重山 地方庁長	宮良 長義 (14年 5月 21日 生)	63	東京物理学校卒、元立法院議員、農業、 石垣市出身

日本政府

秘
無期限

事務次官
近藤外務審議官

アメリカ局長
参事官
北米課長

総改新幹部防歴及び諮問委員会
の帰趨について(本回増報)

43. 11. 28
米北

11月28日、午後11時 在米局長(同次長)より
本増報の件を電話により、次の連絡あり。

- (1) 統帥政府の新幹部の防歴(別紙のとおり)
- (2) 諮問委員会とどうなるか 局長は米北に決ま
っている。同長は総帥の権限拡大を強く
希望しているが、米側は権限が狭い。
同長は昨日、アムステルダムで米側と

GA-5

外務省

10122

加合議の内容は判つていない。アム
ステルダムで総帥と連絡通り、返答は欲しいと

米北は、局長は米北に明確な回答をしない
と、横柄の事。

以下二の由は局長と米北の
一々の内容とあり。

GA-6

外務省

新琉球政府幹部略歴	
1. 副主席	知念朝功
	大正3年生、特立1中、5高、東大法卒
	1952年 法務局長、官房長、立法院議員
	弁護士
2. 総務局長	仲村栄春
	明治42年生 特立2中卒
	沖縄市所林会専務局長、1958—北中城市長
3. 企画局長	宮城信男
	大正9年生、九大法文学部卒
	八重山高校教諭、八重山群島政庁文教部長
	1954 文教図書課長入社、現在常務取締役
4. 建設局長	糸洲一男
	昭和2年生、大阪市立工業学校卒
	琉球範圍 官古文所長、向文所(那覇)監査課長
	官公庁局長、沖縄特産物金庫初代理事長

GA-6

外務省

2	
5. 法務局長	岸本一男
	大正9年生、台北帝大 文政学部卒
	名護高校教諭、琉球政府法務部土地課長
	上新蔵、調査課長、現在沖縄弁士会副会長
6. 農林局長	翁長林正
	大正3年生、台北帝大付属 農林部卒
	琉政 物産検査所長、東京專修学院 海外官
	農林部農林部長、1967—海外駐在專任 沖縄専務局長
7. 通産局長	石川克博
	大正11年生、早稲田大学 経済学部卒
	徳村大学 講師、助教授、1963— 教授
	現在中労連会長、船員労連会長
8. 建設局長	宮里栄一
	大正14年生、東京大学、大学院 数物系卒業
	工学修士、一級建築士
	建博会紀元経営顧問、首都建設局長候選委員
	都市計画委員会委員

GA-6

外務省

9.	厚生局長	山川文雄
	明治45年生	日本齒科医学専門学校卒
	以後 齒科医 審査	沖縄精神衛生協会専務理事
		沖縄精神衛生協会会長
10.	学舎長	中松 寛幸
	大正5年生	特立1中卒
		学舎建設監督官、学舎長、学舎の基幹部長
	1960-	学舎長
11.	文部局長	小島 義彦
12.	警務局長	新垣 敬三
		留任
13.	官舎地所長	宮田 泰良
	大正9年生	一橋大 経済学部卒
		官舎の取立会専務部長、専務長、神小中学校 副幹
14.	八重山地所長	宮良 長英
	明治38年生	沖縄師範学校科卒 東京物理学校 中退
		教師、1960. 立法院議員(議大定)
	1968.	特選

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

秘

才氏が前の官公労委員長であったところから、神聖ととがらす向きもあるが、治安事務局では「イトスは管理職（税関検査課長）も勤め、思想的にも穏健でかつ反共色が強いところから、問題はあまい」としている。

(木) 人民党を含めた革新与党も新局長達の実績を見守りたいとして静観の態度であるが、ただ、公式発表に先立って、屋良氏がアンガー高等弁務官を訪れ、局長人事を報告したと伝えられた事には、革新首長らしからぬこと、として反撥する向きもある、という。

(ハ) 屋良政権の性格を窺わせるものとして、今回の人事に注目していた米側は、目下のところ正式のコメントを慎重に避けているが、28日付英字紙モーニング・スターは一面下段に、新

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

秘

局長の名前と現職の紹介と共に、かなり大きく報道して関心を示している。

(3)

秘
無期限

タイプ指示	発信用	執務用	計
主 信	/	/	2
付	5081	(1) ✓ (2) ✓	
属			

発送日 昭和43年11月29日
 発信 18
 タイプ
 校査 9

文書課長 (分限) 公 信 案

公 信 番 号	米北 第 1779 号	公 信 日 付	昭和 43 年 11 月 28 日
大 体	主 管	起 案	昭和 43 年 11 月 28 日
政 務 次 官	アメリカ局長		
事 務 次 官	参 事 官		
外 務 審 議 官	北 米 課 長		
官 房 長	主 任	起 案 者	有地 電話番号 672

受信者 在米下野大臣
 発信者 佐藤大臣
 臨時代理

写送付先 (希望発送日) 月 日

件 名 琉球政府新局長の頼問のこゝろ

GA-2 28 229 外務省 回覧番号

米北才 1779 号

昭和43年11月28日

在 米 大 使 殿

外 務 大 臣

琉球政府新局長の頼問のこゝろ

11-2-112

11月28日付経済米北才1775号に因り

11月27日夕決定した琉球政府新局長

に1112 (1) 28日在米下野大臣より

北米局長に電送連絡紙1枚略歴(別

紙1) 及び(2) 同人事に付了及籍に因

り新局長(別紙2)を並行参考紙

別紙送付了。

GA-4 別紙送付 外務省

写

秘
無期限

米北才1779号

昭和43年11月28日

在米大使殿

外務大臣

琉球政府新局長の請願書

12712

11月28日付往送米北才1775号に因り

11月27日夕決定に琉球政府新局長

に12712 " 28日 在米大使閣下より

北米局長に電送送付書(略歴(別

紙1) 及び⁽²⁾ 同人事に付する及籍に因

り新局長(別紙2)を貴省に送付

願書送付する。

GA-4

別紙送付

外務省

万博
 事務次長
 官警審長
 文会管給
 人電厚計
 参領旅移
 参北東監
 中西監
 参北北保
 参一ニ
 参西東洋
 西東
 参参遊ア
 次総監國万
 参賛協三
 参政技二
 國一強
 参条協派
 参政審評
 参社専
 参領内
 一二

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

総番号(TA) 4924 主管
 69年2月8日 11時20分 ナハ 務 北一
 69年2月8日 13時45分 本省 着
 外務大臣殿 参 沖總事務所長

申教登における文教科長推薦(連)
 才60号 平 至急
 (総務長官へ才60号)
 後任文教科長人選について、3日間に亘る非公開審議を行なつていた臨時中央教育委員会は、2月7日午後4時30分から審議を公開にし、ナカヤマコウジ(現委員長)を主席に推薦することと全会一致で決定した。これに伴う委員長にアラカキセイ(副委員長)とアラカキコウジ(委員)を全会一致で指名した。新文教科長は、8日に主席に推薦され、同日中に発令されることになろうが、ナカヤマ氏は華新系とは言い下り、これまで中

外務省

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

立的立場をとつてきた人物であること、教育畑のみをあると、特に文教科指道課長の経験もあることから、継続審議中の小学校学習指導要領や予想される文教科部課長人事等今後の文教行政に極端な影響は与えないものと考えられる。

なおナカヤマ氏の中央教育委員辞任により、ナカヤマ氏選出の北部地区で7日から40日以内に補充選挙が行なはれるが、文教科長人選に影響した中央教育委員会。現勢力との関連でミヤサトタケヒ(現北部連合区教育長)を無投票当選させるよう、意見調整がなされている模様である。

此の件については文部省へ連絡されたい。
 (了)

外務省

次長 1041. 秋 7月10日

昭和44年7月7日

千葉課長殿
在沖繩
末岡次長

前略
同封の公信集は、田久保記者の私的日記
（この日記の「序」の序流は正確か）とい
て可なり。しかし市長との相談し、公文書の形
式にすれば、余り不便（響）の公信と区別し、
与るべき（？）に。しかし何ら即参考する可
と送り可なり。寧ろ何れも送り可なり
とす。

以上取不致

日本政府

1548

電
南
ア
ク
エ
神
化
書
院

総出先 号
昭和44年7月4日

~~総理府特別地域連絡局長 殿~~

~~日本府内規事務局長~~

琉球行政府の現状について（内話）

時事通信特派員田久保記者は、2日、首題の件に
関し、末岡に下記通り内話せる趣につき取扱す
可なり。出所の関係上、本位の取扱いには特に注
意願いたす。

記

（現在行政府を事実上動かしているのは、大城
（主席秘書）、大島（渉外部長）、福地（教職員会
経部長）の三人である。）とみている。三人はともに

日本政府

屋良主席の教えよであつた関係もあり、同主席に思
 い切、七二を言ふ立場にある。三人のうちでも福地
 が最も策士であり、卸外から上記二人を通じて
 屋良主席を操つてゐるとみている。
 2. 屋良主席の側近には、革新派からみて頼りに
 する人物はいない。知念副主席しか、仲村総務
 局長を無りである。二人は主席の目付として福地
 の推挙により大島が名報部長に送り込まれた
 のである。
 福地、大島の社会党左派の革新が一は極めて強
 く、主席の施政方針演説、愛知外相訪米
 後のメッセージ等の草案は大島の筆に存するであ
 り、主席は七(3)の TONE DOWN に苦心して
 程である。
 3. 現在この三人により行政府が LEAD されてい

同派には知念副主席も快からず思つてゐるであ
 るが、現在では若干うかされてゐる格好である。
 一方、知念副主席自身としては、次期革新派
 自覚が固つてきつてあり、次期革新主席を狙
 つてゐる。西銘自民党総裁との対決も覚悟して
 ゐる。今次の帰郷研解会を主導したのは
 知念副主席で、却つて屋良主席をかわてさせ
 言われたか、これらも同副主席が革新色を鮮
 にした一帯と言ふ。
 4. 仲村総務局長は自分では屋良主席の右腕と
 自負してゐるが、早く屋良主席の
 どれ程の信頼をおいてゐるのか疑問である。人柄
 としては信頼をおいてゐるが、少くも行政
 能力といふ点では余り信頼してゐるのとは異なる。
 5. 屋良主席が、大塚、大島、福地のラインを認識し

ていふかといふは別として、彼は~~巨視~~^{巨視}的に革新の暴
 走といふ点には敏感であり、2.4セネスト、愛知外
 相訪米阻止等の動きを喰い止めた。しかし、
 今後益々上記二者ラインが狭くなるにすれば
 屋良主席の立場はいよいよ困難になり、遂に
 は革新の暴走を抑えきれなくなる恐れがある
 はないか。

本信号送付先：~~外務省~~ ^{外務省} 外務省局長